

第3回板橋区観光振興ビジョン策定検討委員会 議事要旨

- 日時 令和7年6月9日(月) 10時30分～11時40分
 - 場所 板橋区役所南館4階 災害対策室
 - 出席者 安島委員長、中野副委員長、武部委員、松下委員、渡辺委員、高田委員、島田委員、高橋委員、別府委員、伊東委員、平岩委員、家田委員
 - 傍聴者 なし
 - 配布資料 資料1 板橋区観光振興ビジョン2035(素案)
参考資料 今後のスケジュール
 - 次第
 - 1 開会
 - 2 議題
板橋区観光ビジョン2035の素案について
 - 3 閉会
-

主な議論内容

- 1 板橋区観光振興ビジョン2035の素案説明
板橋区観光振興ビジョン2035の素案を提示し、基本理念と3つの目標について説明(くらしと観光課長)
- 2 各委員からの意見
 - (1) 目標における観光の定義と方向性について
 - 今回の理念からは、板橋はこうありたいというイメージはあるが、観光がこうありたいというものが感じられない。(別府委員)
 - 板橋の魅力伝えて住みたくなる人を増やすというのに異論はないが、観光ビジョンとして「すみたくなる」という目標はない。観光振興に特化したビジョンにすべき。(別府委員)
 - 観光というのは色々幅広い視点で捉える必要があり、文化的な資源を大事にしていくことも賛成である。一方で観光の在り方は、地域によっていろいろである。観光にとって大事なものは新しい価値を創造するという事。(安島委員長)
 - 中長期的の居住者である区民を対象に魅力づくりをしていくということは区の基本計画に基づいており、板橋区はこうありたいなっていう方向に合ってきている。その魅力を発信していくことが必要である。(渡辺委員)
 - 前回の検討委員会で提示された案よりすごく分かりやすくていいと感じた。

住みたくなると観光が全然かけ離れているものだと思わない。最終的な目標として、すみたくなるとするのであれば、そのツールとしての観光としてはとてもいい方向性なんじゃないかなと思う。(島田委員)

- 前回からの議論の流れの中で、住みたくなるという方向になっているので目標について異論はない。(武部委員)

(2) 記載内容や見せ方についての意見

- 画像やイラストがありわかりやすい資料だが、資源の単語だけでなく背景やストーリーを記載した説明文も必要。画像やイラストの適切なものを掲載する必要がある。(安島委員長)
- 観光庁などのデータや、他区との比較や政策との関連についても記載した方が良い。(伊東委員)
- 前回の策定からの約10年間での出来事である史跡公園の件や板五米店の有形文化登録、志村一里塚の石柱再建なども記載すると良いと思う。(別府委員)
- 目指す方向を定めるのがビジョンである。実現出来そうな内容に収束している。例えば、史跡公園で野外音楽会を開催するなど各地域資源をユニークベニューとして利用するなど、もう少し夢のある内容を盛り込んでいけたらと思う。(安島委員長)

(3) 目標に紐づく施策関連について

- 東京都内の音楽ホールは慢性的に不足している。板橋区にクラシック音楽向けのホールができれば、芸術振興としても観光の集客につながる。(松下委員)
- 「すみたくなる」という目標では、健康を取り上げると良いと思う。(安島委員長)
- 観光資源のDX活用を目標や施策に記載すべきである。(別府委員)
- 留学生や在日外国人の方と地域住民で文化体験など交流イベントがあると住みたくなる、行きたくなるという目標に繋がっていくと思う。(武部委員)

3 今後のビジョン策定の進め方

各委員の意見を反映し素案を整理していく。

前回ビジョンの総括やデータ、資源の説明については資料編に掲載し、次回の検討委員会で提示する。

4 スケジュール

8月頃に第4回検討委員会を実施し、素案の再提示と協議。その後、パブリックコメントの実施と議会への中間報告を経て11月～12月頃に最終案の協議というスケジュールを予定。